

コロナ禍において経済学部が春学期に実施した情報支援について

— 新入生環境調査アンケート結果の報告 —

堀 江 郁 美^{†a)}
李 凱[†]

概要：2020年春、新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の事態に世界中が見舞われた。緊急事態宣言が発出され、獨協大学でも先行き不透明な中、支援を必要とする学生や教員が多く見られた。大学及び各学部においても様々な情報支援をそれぞれ行っていたが、本稿はそのうち経済学部が主導的に行った支援体制について説明したものである。経済学部においては、春学期に8つの支援を行った。それぞれの簡単な説明と、その中でも経済学部新入生アンケートに焦点を当て、分析結果を報告する。

キーワード：遠隔授業、コロナ禍、情報支援

1. はじめに

大学及び各学部においても様々な情報支援をそれぞれ行っていたが、本稿はそのうち経済学部が2020年度春学期に主導的に行った支援体制について説明する。2020年2月に新型コロナウイルス感染者が世界的に増加し始め、瞬く間に3月2日には小中高が一斉休業に突入し、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大した。獨協大学でも急激に予測不能な事態が次々と起こり、教職員や学生に大きな影響を与えた。表1のように、獨協大学に関しては、2月22日のイベントの中止を皮切りに卒業式、入学式が中止され、春学期のガイダンスや授業開始が1ヶ月延期された。その後も、4月7日の埼玉県の緊急事態宣言発令に従い、大学施設が使用停止になり、2020年4月16日に再度の延期と全面的遠隔授業（オンライン授業等）への移行が発表された。全面的遠隔授業は、教員側も学生側も経験がなく、日々刻々と状況が変わり春学期のガイダンスや授業開始が更に2週間延期された。世界中で都市封鎖や大学や小中高でオンライン授業が開始されるのを受け、不安の声も大きくなった。そこで、経済学部として、まずは経済学部の教員と学生を対象にオンラ

インでできるサポートを積極的に行うことにした。

具体的には春学期に以下8つの支援を行った。オンライン授業サポート用のサイト作成、学生のPC購入をサポートするプリントの配布、新入生への環境調査アンケート実施、学生に遠隔授業を受ける際の注意喚起プリントの配布、経済学部サイトでの情

表1 新型コロナウイルスに関する獨協大学のイベント

日付	場所	出来事
2/22	獨協大学	3/7のイベント中止を発表
2/27	日本政府	学校臨時休業要請
2/28	獨協大学	卒業式・入学式の中止を発表
3/2	日本政府	一斉休業開始
3/11	WHO	パンデミック宣言
3/20	獨協大学	授業開始日の2週間延期を発表
4/7	日本政府	7都府県に緊急事態宣言が発出
4/10	経済学部	遠隔授業実践ガイド作成
4/16	日本政府	緊急事態宣言が全国に拡大
4/16	獨協大学	全面的遠隔授業への移行発表
4/23	獨協大学	遠隔授業支援特別奨学金給付発表
5/7	経済学部	機器購入のガイドライン配布
5/14	獨協大学	著作権ガイドライン、遠隔授業受講ルール配布
5/25	獨協大学	春学期開始
7/31	経済学部	Twitterアカウント作成
8/5,12	経済学部	経済学部の部屋実施

† 獨協大学経済学部 埼玉県草加市学園町1-1

a) E-mail: horie@dokkyo.ac.jp

報提供、Twitterでの経済学部アカウントの作成と情報発信、オンライン交流会「経済学部の部屋」の実施、ゼミ紹介や講義紹介の動画を置く経済学部YouTubeチャンネルの開設などである。

本論文の構成は、2章で経済学部の教員・学生に向けた8つの支援について簡単に説明する。3章では、8つの支援のうち、経済学部新入生アンケートとその分析結果について述べる。4章では、経済学部運営委員会の支援体制とアンケート結果をまとめる。

2. 経済学部の教員・学生への支援について

ここでは、経済学部運営委員会が実施した教員・学生へのサポートについて順に説明する。

経済学部には、経済学科、経営学科、国際環境経済学科の3学科とも各クラス新入生約30人程度に分けられたクラスセミナーが必修科目として存在する。この科目では、各クラスごとに担当する専任教員がいて、毎週、1年生への情報提供の場として、大学の1年生向け教育における担任（教師的な）機能を果たした。経済学部運営委員会が実施した様々な支援は、このクラスセミナーを通して宣伝され、担任によってサポートを受けることができたため、効果的に実施することができた。

2.1 オンライン授業実践ガイド

獨協大学は経済学部、法学部、外国語学部、交流文化学部からなる所謂文系大学である。そのため、コンピュータに不慣れな教員も多いことが推測された。そこで、オンライン授業を実施するために注意すべき点と、何ができるかに焦点を当て「オンライン授業実践ガイド^[1]」というサイトを作成した。以下に、目次を紹介する。

【目次】

- (1) オンライン授業について
- (2) 遠隔授業をする際に気をつけるべきこと
 - (ア) 大学生の情報機器環境
 - (イ) 遠隔授業に関連する法律など
 - (ウ) その他の問題点
- (3) オンライン授業のコンテンツ作成
 - (ア) オンライン授業の形式

- (イ) オンライン授業の出席確認、評価
- (ウ) オンライン授業の注意点
- (4) 利用できる便利なサービス
 - (ア) お勧めのサービス
 - (イ) お勧めのコンテンツ
- (5) 具体的な実践方法など
 - (ア) 獨協大学推奨の方法
 - (イ) 遠隔授業の実践方法
 - (ウ) 情報共有・交換の実践法
 - (エ) Googleのサービスを用いた応用編
- (6) 他大学の情報など関連情報（リンク集）

従来、対面授業を行っており、オンライン授業を実施しないため、特に今まで考える必要がなかった法律や学生の環境などにも注意して説明した。また、閲覧対象者が教員のため、自分で調べることができるように、参考文献や参考になるサイトなどを多く載せるようにした。オンライン授業が実施されることがわかった時点で大学が公式にサポートするソフトがわからなかった為、基本的に無料のクラウド型のものを利用し説明した。最終的に、獨協大学が公式にサポートしているソフトウェア、例えば、Zoom^[2]やWebex^[3]、manaba^[4]などは、発表後、書類が整備され配布された為、これらのソフトについてはオンライン授業実践ガイドには載せていない。

また、このサイトは途中から全学のサポートを受け、様々な学部の代表者らから意見を聞き内容を追加した。特に、経済学部の今福啓教授には積極的に改訂に参加して頂いた。

学部としてのアンケートや問い合わせ先は明記したが、そこを通さずに著者に直接連絡がくるが多かった。

2.2 PC購入サポート配布

獨協大学では、4月16日に全面的にオンラインに移行することが発表された後、1週間後の4月23日には遠隔授業支援の為の特別奨学金の給付が発表された。特別奨学金を用い5月25日の遠隔授業開始までに授業に必要なものを購入できれば、スムーズに遠隔授業を実施できると思われた。

獨協大学では、毎年新入生の最初の授業で情報環境調査を行っている。2019年度の結果は、スマ

ホの所有率は100%近いが、自宅にPCを所有する学生は32%程度、自分専用のPCの所有率は27.8%という結果であった^[5]。このままでは、学生の多く、特に1年生にはオンライン授業だけでなく、パソコン購入の経験もないことが容易に想像できた。高価な機器を買ったにも関わらず、授業で使えなかったとなると教員学生双方が不利益を被ることになる。そこで、経済学部として、PCの購入サポートの文書を作成し、配布した（資料1）。

項目は以下の通りである。

- (1) 必要な機器と通信環境
- (2) パソコンと他の通信機器との比較
- (3) OSの種類
- (4) パソコンの性能
- (5) パソコンの購入に参考になるサイト
- (6) 奨学金について

学部1年生をメインターゲットとし、パソコンを購入・所持したことの無い学生にもわかるように説明した。一般的なOSについてなどから、具体的に遠隔授業には何を準備する必要があるのか、レポート作成やメール送受信などにはどの機器が向いているのかなども詳しく記載した。最終的には「授業指定のソフトなどをインストールでき、どのような遠隔授業も受けることができることと、4年次に卒論を書くことなどを考えると、Windows OS かMac OS のパソコンをお勧めします。大学と同じ環境で学びたい場合は、Windows OS にしましょう。」とし、パソコン、特に、Windows OS のパソコンの購入を勧めた。また、パソコンの購入に参考になるサイトを紹介し、仕様や金額の比較ができる様にした。

2.3 遠隔授業受講ルールの配布

遠隔授業が始まる直前の5月14日には、遠隔授業受講ルールとして、遠隔授業を受ける際に注意する事柄を説明した文書を学生に配布した。これは大学が教員に配布した遠隔授業に関する著作権ガイドラインと一緒に作成された。内容は、著作権、ネット上のルールやマナー、セキュリティについて、何をするとどうなるのかという点に焦点をあて説明した。一般的な著作権の説明などはもちろんの

こと、学生がどういうことをすると、授業や単位にどう関係があるかなどを記載した。

2.4 経済学部新入生アンケート

遠隔授業が始まってからは、新入生に対して遠隔授業を受ける環境にいるかどうかを調べる調査を実施した。

2020年度の経済学部の新入生773人は全員1クラス約30人程度のクラスセミナーに割り当てられた。この授業が全員必須のため、ここで新入生アンケートを実施した。基本的には、遠隔授業のために機器を準備できたかや、遠隔授業にむけての感想などを聞いた。このアンケートの結果を詳しく3章で説明する。

2.5 経済学部サイト

2013年から経済学部のオリジナルサイト^[6]は存在していたが、イベント情報やニュースなどがメインであった。そこで、2020年度4月には学部長、各学科長の写真付きで学生へのメッセージを載せるなど、学部生が不安にならない様工夫した。他の情報支援に関する情報も経済学部サイトで紹介し、経済学部運営委員会からのメッセージを伝える重要な役目を果たした。

デザインが古いが大学の機器の移転などがあったためであり、移転後にできるだけ早くデザインの変更を予定している。

2.6 Twitterアカウント作成

7月31日には、獨協経済学部の公式のTwitterアカウント (<https://twitter.com/dokkyoeco>) を作成した。目的は、学生からの意見を聞き、学生に必要な情報を発信するためである。数あるSNSの中からTwitterを選んだのは、大学生の利用率が高く^[7]、また、アカウントの作成が比較的容易なため、捨てアカウントなどを作成して学生の投稿が見込めると予想できたからである。

トップ画面には、Google Formによる無記名の質問フォームも設け、Twitterのダイレクトメッセージ (DM) も公開し、様々な方法で学生が匿名で意見を述べるができるようにした。

8月の頭に学生がTwitterを利用する際の機器や、Twitterで興味のあること、希望するTwitterの雰囲気

気などをTwitterのアンケートフォームを用いて質問した。この質問により、多くの学生が午後スマートフォンから閲覧していたり、動画の視聴時間やアクセス数からTwitterでは動画より写真の方が好まれるなどの特徴を分析した。

毎日投稿を続け、就活に関するアンケート希望が3年生からきた後、質問やアンケートは1日1～2通の割合でコンスタントにくるようになった。質問に関しては教務関連が、意見に関しては学費減免に関すること、希望するツイート内容としては、ゼミ紹介や就職活動関連が多かった。学費に関しては最初の方だけで、学生の希望を聞きサポートしたいために実施している主旨を理解して貰えたのか、徐々に少なくなった。これらの意見は、各部署と連携し協力をお願いし、第2.7節で紹介する経済学部の部屋なども利用しながら、学生に情報提供する予定である。Twitterでの交流の詳細に関してはデータを溜め、分析ののち報告する予定である。

2.7 経済学部の部屋

8月5日からは経済学部運営委員会主催で、オンライン交流会「経済学部の部屋（仮）」を実施した。第1回目は、経済学部長を始めとし、各学科長や教務委員、教務課の職員などの紹介をし、2回目は学生の多くが興味を持っている海外旅行をテーマにした。

(1) 第1回オンライン交流会

- 日時：8/5（水）12:45～13:15
- タイトル：大学生生活って…
- 経済学部運営委員会メンバーからの挨拶
- 今後の「経済学部の部屋（仮）」の紹介

(2) 第2回オンライン交流会

- 日時：8/12（水）12:45～13:15（30分）
- タイトル：海外体験記
- 経済学部高安ゼミ3年生
 - ◇ 湯浅麻由乃さん：NZ短期留学
 - ◇ 清水なつめさん：海外一人旅（BEL, FIN, EST）

Twitterのアンケートでは興味がある人はかなりいたため、出席者が多くなることを期待していたが、1回、2回ともに、30名程度の出席者であっ

た。何度か共有実験などもし問題ないことを確認していても、実際の交流会の場では学生発表者のマシンが急に動かなくなったり、急に就職面談が入り急遽発表順を変更したりなどオンラインでの実施という面で困難もあった。しかし、トラブルが起きる前提で準備をし、臨機応変に対応でき、大事に至らず実施できた。

第1回、第2回ともに、どの視聴者も礼儀よく、チャットを使った質問では、どちらの回も10件程度の意見や質問があった。1回目の意見では「大学生になった実感が湧かない」という1年生の切実な声も聞かれ、学生対応への必要性が再認識された。

秋学期も引き続き実施予定である。秋学期1回目は、Twitterでゼミ関連の要望が多く寄せられ、興味の高さがわかったため、1年生対象のゼミ説明会を行い、200人近い学生が参加した。必須ではなかったが、今年度はコロナの影響で例年実施されていた教務課主催の全体ゼミ説明会が行えないため、それに替わるものとしても利用でき、学生の需要も高かったと推測できる。

2.8 経済学部YouTubeチャンネル

コロナの影響により、経済学部生対象のゼミ全体説明会だけでなく、様々なイベントが中止になっている。高校生を対象とするオープンキャンパスも、オンラインで実施されており、体験授業などもオンラインになり、実際の雰囲気がよくわからない。

そこで、学生たちが容易にゼミや授業の雰囲気を知ることができるように、YouTubeに獨協大学経済学部チャンネル^[8]を開設した。10月のゼミガイドスの前はゼミの紹介、など時期に合わせてリストなども活用し、経済学部をアピールする予定であった。しかし、10月に公開したところ、すぐに著作権違反の動画があるのではとの意見を頂いた。指摘された動画は著作権的に問題はなかったが、公開前に全ての動画を専門家に確認して貰うことになった。様々な権利関係を確認後公開となる予定である。

急な呼びかけということもあったが、ゼミガイドス前に、ゼミ紹介動画は19本集まった。卒業生や卒業生の就職先、関連会社などが動画に映るためYouTubeに置けないゼミや、ゼミ別ガイドスを動画にすることを希望する教員もいたが、多くのゼミ

が動画を作成していた。しかし、動画作成方法がわからず作りたくても作れない教員も多く、サポートが必要であることがわかった。

今回、動画の回収方法としては、Google Drive、Google フォーム、大学内共有フォルダ、ファイル転送サービスなど、教員の環境にあわせて様々なものを利用した。

3. 新入生アンケートの分析結果

ここでは、春学期開始の2020年5月25日からの1週間で、2020年度獨協大学経済学部1年生新入生773人、30クラスに行ったアンケートの結果を紹介する。26クラス、605人がアンケートに協力した。

3.1 使用機器について

まず、遠隔授業に使用している機器が何かを質問した。どの学科もあまり違いはなく、437人（72%）の学生がWindowsパソコン、87人（14%）の学生がMacパソコンを用意していた。

表2 遠隔授業に使用している機器

機種名	件数	割合
Androidスマートフォン	6	1%
iPad	24	4%
iPhone	45	7%
MacOSパソコン	87	14%
Windowsタブレット	6	1%
Windowsパソコン	437	72%
総計	605	

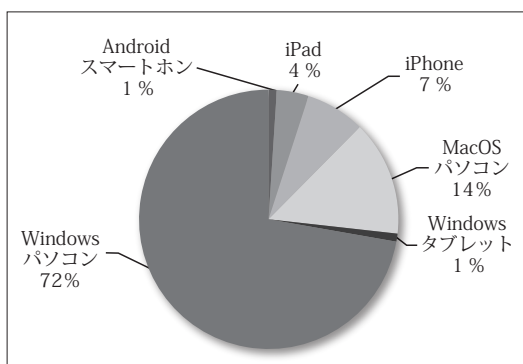


図1 遠隔授業に使用している機器

次に、機器の入手方法について質問した（表3）。396人（65%）の学生が新規・中古・一部の機器の購入をしていた。著者が担当する2年以上を受講生とするゼミで同じ質問をしたところ、購入者は40%であり、学年が上がるに連れ減り、3、4年生では既に全員がパソコンを持っており、新規購入者はいなかった。2年生以上への質問の回答者は49人と少ないため、単純に比較はできないが、1年生は他学年と異なり多くの学生が初めて自分のパソコンを持つため、特別なサポートが必要なのことがわかる。また、2019年度の獨協大学の情報環境調査による自宅のパソコン所持率は32%程度であり、2020年度も例年とほぼ同じだったことがわかる。

表3 機器の入手について

入手方法	件数	割合
一部購入 [※]	3	0%
家族のもの	76	13%
自分のもの	129	21%
新規購入	379	63%
中古購入	14	2%
貰った	4	1%
総計	605	

※マイクやイヤホン、プリンターなどの部品購入

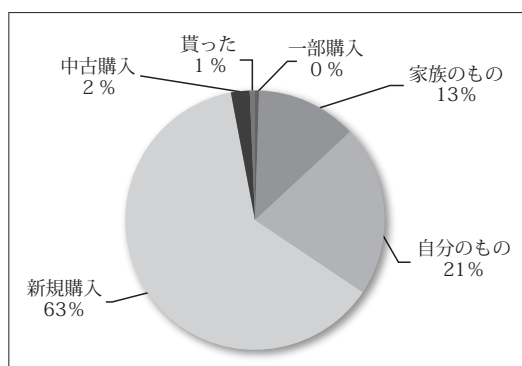


図2 機器の入手について

表4は、購入者のうち、何を買ったのかを質問したものである。iPhoneやAndroidスマホを購入した学生もいるが、524人（86%）が経済学部のお勧め通りパソコンを、その中でも437人（72%）がWindowsパソコンを購入していることがわかり、PC購入サポートの配布の効果があつたことがわかる。

表4 購入者機器内訳

機種名	一部購入	家族の	自分の	新規購入	中古購入	買った	総計	割合
Android スマホ			6				6	1%
iPad	1	3	14	6			24	4%
iPhone		1	42	2			45	7%
MacOS PC		6	14	66		1	87	14%
Windows タブレット				6			6	1%
Windows PC	2	66	53	299	14	3	437	72%
総計	3	76	129	379	14	4	605	

3.2 通信環境について

通信環境については、契約している回線や、通信制限の有無、通信状況について質問した。表5のように、何かわからないが自宅のネットに繋いでいる学生が315人（52%）と一番多かった。また、回線の詳細を知っている学生では、光回線が一番多く、多くの学生が安定した通信回線を利用できることがわかった。しかし、スマホ、モバイルルータ、ADSL、VDSLの学生も数は少ないが存在する事は無視できない。

表5 契約している回線の種類について

回線種類	件数	割合
CATV	32	5%
スマホ	6	1%
その他*	2	0%
モバイルルータ	27	4%
光回線	223	37%
自宅のネット**	315	52%
総計	605	

※その他はADSL、VDSL
 ※※自宅のネットは詳細不明

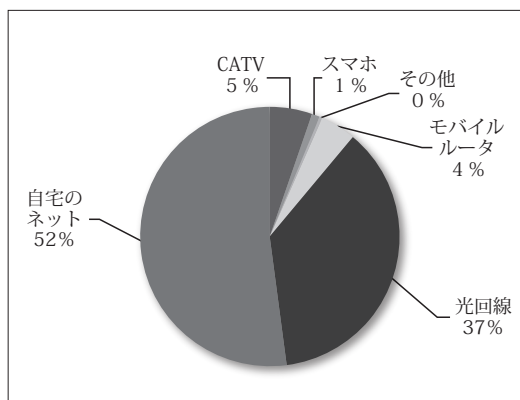


図3 契約している回線の種類について

次に、通信制限の有無を質問した。結果、456人（75%）の学生が通信制限なしの環境にいることがわかった（表6）。この時期は多くのキャリアが大学生の通信費軽減策を出していることも大きく、ほとんどの学生が通信制限のない環境にいることが確認できた。そこで、通信状況について質問した。表7からは「まあまあ」と「よい」と答えた学生が462人（76%）いて、多くの通信状況に問題はないが、問題を抱える学生も少なくないことがわかった。しかし、スマホやモバイルルータでアクセスしている学生が33人（5%）いるため、キャリアが通信費軽減策を中止した後が課題となることがわかった。

表6 通信制限の有無

制限の有無	件数	割合
通信制限なし	456	75%
通信制限あり	25	4%
わからない	124	20%
総計	605	

表7 通信状況について

状況	件数	割合
まあまあ	304	50%
よい	158	26%
雑音、たまに途切れる	45	7%
使用に耐えない	3	0%
たまにカクカク	95	16%
総計	605	

次に、表8のように、通信回線の種類と通信状況について質問した。どの通信回線を用いた学生にも雑音が入ったり、音声途切れたり、動画がカクカクしたりなど問題が生じていることがわかる。その中でも、「まあまあ」と「よい」の割合がスマホで3人（50%）、モバイルルータで15人（56%）、その他で1人（50%）と低かった。しかし、CATVで22人（69%）、光回線で186人（83%）、自宅のネットでは235人（75%）と「まあまあ」と「よい」の割合が比較的高く、ネット回線の種類によって大きく回線状況が変わることが確かめられた。

表8 通信回線の種類と通信状況

	CATV	スマホ	モバイルルータ	光回線	自宅のネット	その他	総計
まあまあ	16	3	12	119	153	1	304
よい	6		3	67	82		158
雑音途切れ	4	2	5	8	26		45
耐えない			1	1		1	3
カクカク	6	1	6	28	54		95
総計	32	6	27	223	315	2	605

3.3 遠隔授業・コンピュータ操作について

ここでは、1回目の遠隔授業を終えた後の、使用機器別、回線種別、操作習熟度別遠隔授業への好感度を分析した。「まあまあ」と「よい」が好感度を表すものとし、それぞれの割合を調べ比較した。表9は、使用機器別に遠隔授業への感想を表にしたものである。遠隔授業の好感度は、MacOSのパソコンで75人（86%）、Windows OSのパソコンで75人（90%）、iPadで21人（88%）、Windowsタブレットで6人（100%）と、OSの種類に関係なくパソコンやタブレットを使用している学生の遠隔授業への好感度が高かった。画面の小さいスマホでは、他の機器よりは割合が低くなり、Androidスマホで5人（83%）、iPhoneで31人（69%）となった。遠隔授業はやはり画面のサイズに影響を受けやすいことがわかった。また、今回は初回の授業後のアンケートでレポート提出などの操作をしていないせいか、タブレットでもパソコンと同程度の好感度を示しており、操作が入ると印象が変化するという可能性がある。

表9 遠隔授業の使用機器別感想

	Androidスマホ	iPad	iPhone	MacPC	Winタブ	WinPC	総計
まあまあ	3	14	25	49	4	274	369
よい	2	7	6	26	2	119	162
困る	1	3	14	12		44	74
総計	6	24	45	87	6	437	605

※MacPCはMacOSのパソコン、WinタブはWindowsタブレット、WinPCはWindowsOSのパソコンをそれぞれ示す。

次に、回線の種別によって授業への好感度を比較した（表10）。それぞれの好感度は、CATVが31人（97%）、スマホが4人（67%）、モバイルルータが21人（78%）、光回線が197人（88%）、自宅のネットが277人（88%）、その他が1人（50%）であった。この結果は、回線状況ともよく似ており、回線状況があまりよく無かったスマホ、モバイルルータ、その他の遠隔授業への好感度が低くなった。

表10 遠隔授業の回線別感想

	CATV	スマホ	モバイルルータ	光回線	自宅のネット	その他	総計
まあまあ	23	4	12	133	197		369
よい	8		9	64	80	1	162
困る	1	2	6	26	38	1	74
総計	32	6	27	223	315	2	605

最後に機器別遠隔授業への不安度を調査した。

Androidスマホ、iPad、iPhone、MacOSパソコン、Windowsタブレット、WindowsOSパソコンの順に不安を感じる割合はそれぞれ、5人（83%）、10人（42%）、31人（69%）、42人（48%）、5人（83%）、282人（65%）であった。50%以上不安を感じたのはAndroidスマホ、iPhoneスマホ、WindowsOSパソコン、Windowsタブレットであった。iPadとMacOSのパソコンが何故か不安度が低かった。比

較的にどの機種でも学生は遠隔授業に不安を感じていることが読み取れるが、初めて自分のパソコンを持ち、コロナ禍で先行きが不透明な中、初めての遠隔授業が始まるということで当然の結果と考えられ、サポートが必要なことがわかる。

表11 機器別遠隔授業への不安度

	Android スマホ	iPad	iPhone	Mac PC	Win タブ	Win PC	総 計
その他 (微妙)						1	1
不安	5	10	31	42	5	282	375
不安 なし	1	14	14	45	1	154	229
総計	6	24	45	87	6	437	605

※MacPCはMacOSのパソコン、WinタブはWindowsタブレット、WinPCはWindowsOSのパソコンをそれぞれ示す。

3.4 自由記述

ここでは、比較的件数の多かった自由記述を紹介する。以下のように、意見はサイトの情報、遠隔授業、パソコン操作に関する3つに大きく分けられる。

(1) サイトと情報に関して

- － サイトが多く、情報量が多すぎる
- － 出来るだけ早く情報を公開して欲しい
- － 対面授業の復活

急に遠隔授業になったため、大学側の整備が遅れ最終的に複数のサイトを準備することになった。そのため、サイトに関し、確認すべきサイトが多すぎる点と、情報量が多すぎる点が多く指摘された。また、対面授業の復活を望む声も多く聞かれた。

(2) 授業に関して

- － 出席、提出などの反応が欲しい
- － 学生側のカメラをオフにしたい
- － 授業中の回線の不具合時の対処方法を明確に示して欲しい
- － WebEx、Zoomの操作方法を教えて欲しい
- － ゆっくり話して欲しい

遠隔授業に関しての意見も見られた。教員も学生も初めての経験が多く、遠隔授業への希望も多く聞かれた。また、Zoomで授業を聞いていてこれが実際に出席と認められているのかどうかを確認したいとの声が多くあがり、初めての遠隔授業で求められた操作をしているのか不安を持つことがわかった。

(3) パソコン操作について

- － wordやexcelを使いこなせない
- － パソコンを操作するのがほとんど初めてなので、不安を感じる
- － タイピングが遅い

最後に、パソコン操作への不安の声が多かった。適宜教員には、アンケート結果を示し対応を求めた。また、自由記述欄に連絡先を残した学生全員に個別に連絡し、問題が解決していない場合や、新たに問題が起こった場合に、連絡するように伝えたが誰からも連絡はなかった。このことからクラスセミナーの担任が適切に処理していたことがわかる。また、授業が進むにつれ、1年の選択必修科目であるコンピュータ入門の受講によってパソコン操作にもなれ、不安が解消されたことも推測できる。

4. おわりに

本稿では、春学期に獨協大学経済学部運営委員会が主導的に実施した8つの支援について説明し、そのうちの新入生に環境調査アンケートについて詳しく説明した。

経済学部運営委員会は、昨年度のアンケート結果を参考にし、特に1年生の多くが大学に入学した環境変化に加えて、遠隔授業に接し、初めて自分のパソコンを持つため、特別なサポートが必要であると推測しサポートを行ったが、今年度のアンケートからもその推測が正しかったことがわかる。一つ一つのサポートでは効果の出ないものも、8つのサポートが連携し、補い合うことにより効果を発揮したり、確かめられることがわかった。

秋学期も同様に教員や学生のサポートを続け、今後は効果的にサポートを行うためにTwitterやアンケート結果のデータの分析を行う予定である。

参考文献

- [1] オンライン授業実践ガイド、獨協大学経済学部、<https://sites.google.com/view/dokkyoeco/> (2020年9月16日参照)
- [2] Zoom, Zoom Video Communications, Inc, <https://zoom.us/> (2020年9月16日参照)
- [3] Webex, Cisco Systems, Inc, <https://www.webex.com/> (2020年9月16日参照)
- [4] manaba、株式会社朝日ネット、<https://manaba.jp/> (2020年9月16日参照)
- [5] 日経パソコンEduと情報環境の変化との関連性に関する研究、立田ルミ、李凱、鈴木淳、今福啓、堀江郁美、2019 PC Conference
- [6] 経済学部のオリジナルサイト、獨協大学経済学部、<https://www.dokkyo.ac.jp/eco/>
- [7] H30年版白書インターネット利用の広がり、総務省、<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd142110.html>
- [8] YouTubeに獨協大学経済学部チャンネル、<https://www.youtube.com/channel/UCnB3X-jY2m-D7vJ4nPj2Ogg/>

2020年5月7日

獨協大学経済学部生のみなさんへ

獨協大学 経済学部長
倉橋 透

5月25日から遠隔授業が始まります。経済学部の講義の中にはパソコンやソフトである Microsoft Office(以下、Ms Office と略す)の使用を前提とする遠隔授業もあるため、以下の情報を参考にして、奨学金等を活用し、対応するパソコンの購入をはじめ遠隔授業が受講できる体制を整えるようにしてください。なお、卒業後も、パソコンや Ms Office は必要度が高いです。

1. 必要な機器と通信環境

- a. 必ず必要なもの
 - ・ パソコン
 - ・ ネット接続
 - ・ プリンター（まとめてコンビニでも可）
- b. 映像を用いる授業を行う場合に必要なもの（最近のパソコンにはついている）
 - ・ マイク
 - ・ Web カメラ

2. パソコンと他の通信機器との比較

遠隔授業を受けるには、パソコンが最適です。授業を視聴するだけでなく、課題などもあり、Ms Office（パソコンに搭載されたソフト：ワード、エクセル、パワポ等。）を前提とする授業もあります。また、卒業後もパソコン、Ms Office は必須です。

	双方向 動画授業	PorTa II 操作	レポート 作成	メール	動画再生	ソフトの インストール	お勧め度
パソコン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
タブレット	○	○	○	◎	◎	△	○
スマートフォン	△	△	△	○	○	×	△

3. OSの種類

パソコンは以下のように OS (Operating System ; オーエス) とされる最も基本的なところで動いているソフトで大きくわけることができます。

- **Windows OS** : Microsoft 社の製品。どの授業でも受けることができる。高め
- **Mac OS**: Apple 社。ほとんどの授業を受けることができる。高め
- **Chrome OS**: Google 社、インストールできないソフトがあるため、受けられない授業がある。授業前に使用するソフトの確認が必須。
- **Linux**: 自分で選択して組み立てが多くお勧めしない、慣れている人向け

	Ms Office	難易度	予算	ソフトのインストール	お勧め度
Windows OS	◎	◎	8万～	◎	◎
MacOS	◎	◎	12万～	○	◎
Chrome OS	△	○	6万～	△	○

授業指定のソフトなどをインストールでき、どのような遠隔授業も受けることができることと、4年次に卒論を書くことなどを考えると、Windows OS か Mac OS のパソコンをお勧めします。大学と同じ環境で学びたい場合は、Windows OS にしましょう。

4. パソコンの性能

大学としての推奨パソコンはありませんが、最低限必要な性能として以下のようなものが考えられます。

- ノートブック型(持ち運びできる型)、13.3 インチ
(以下はやや専門的です。購入する時に確認してください)
- OS: Windows10
- CPU : Core i3
- メモリ : 4GB
- ストレージ : SSD 128GB

現在売られているほとんどのパソコンはこれよりも性能が高いので、比較的新しいものをご購入するとよいでしょう。

5. パソコンの購入に参考になるサイト

機種の大まかな値段とパソコンの性能を確認するには、以下のサイトが参考になります。

- 価格.COM (<https://www.kakaku.com/>)
- Amazon.co.jp (<https://www.amazon.co.jp/>)
- ヨドバシドットコム (<https://www.yodobashi.com/>)
- ビックカメラ.com (<https://www.biccamera.com/>)

購入時は以下をチェックしてください。

- パソコンの性能
- 付属ソフト
 - ウィルス対策ソフトの有無と種類（トレンドマイクロ社、マカフィー社等のもの。パソコンウィルス対策は必須です）
 - MS Office が付属かどうか（値段が大きく変わります）
- 保険の種類と期間
- 支払い方法
- 配送料金と方法

6. 奨学金について

獨協大学は「**2020年度獨協大学遠隔授業支援特別奨学金**」を申請に基づき給付します。遠隔授業に必要な通信環境整備のため、パソコン購入や通信費に充ててもらうため、全学部生・大学院生に10万円を給付します。



<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2020/20200429003419.html>

また、文部科学省の「**新型コロナウイルス感染症の影響で学費等支援が必要になった学生のみなさんへ**」というサイトで文科省が実施する奨学金について説明があります。



https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1420041_00003.htm

他にも様々なところが支援をしています。大学のサイトやPorta IIなどを毎日チェックし、情報が得られなかったため、申請できなかったということにならないよう注意しましょう。